

AALA ニューズ 120 号 内容紹介

1 , 岡田充「米日台同盟で中国を軍事抑止/作られた台湾有事の虚実」

岸田政権が 12 月にまとめる「安全保障戦略」。背景となっている「台湾有事」とは何か。その虚実を検証する。日本 AALA 機関紙 12 月号に掲載。

2 , スティーブ・エルナー「米国がルラに最も心配すること」

アメリカの著名なラテンナメリカ研究者がブラジルのルラ前大統領の政権復帰の国際的な影響について分析しています。

3 , ジョン・ロス「米国を国際軍事侵攻の推進に駆り立てるもの」

三大陸誌に掲載された「米国と新冷戦；その社会主義的評価」の第三論文です。経済力の相対的な低下を優位にたつ軍事で挽回しようとする戦略を詳細に分析しています。

4 , 第 22 回共産党・労働者党国際会議の最終宣言・行動計画

10 月末にキューバのハバナで開かれた首題の会議 (EIPCO) は、1998 年にギリシャ共産党の呼びかけて始まったもの。今回の会議には、60 力国から 78 の共産党・労働者の代表が参加したとされています。

5 , インド共産党 (CPIM) の国際情勢報告

10 月末開かれた同党の中央委員会に提出された報告の国際情勢部分。ウクライナ戦争と世界経済危機の現状をどうみているか。

6 , 田中靖宏「対立を協力に変える ASEAN の知恵に学んで」

11月初めカンボジアで開かれた ASEAN 各国の市民組織が集まる国際会議にオンライン参加した日本 AALA 国際部長の発言です。